

アーカイブ Data Report NO. 48

（2020年9月27日）

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町10番地 杉山ビル5F
E-mail: shikaku@npo-nak.com URL: https://npo-nak.com

デジタルアーカイブの機関・地域等とハブ・ポータルに関わり ～人に役立たせるためのコンテンツ共有化～

櫛 彩見（岐阜女子大学）

1. デジタルアーカイブの管理・流通

デジタルアーカイブ研究の初期である1990年代は、1つの機関によってコンテンツの収集や保管、提示、活用が行われていた。そして2010頃からデータ処理や通信の高速化から横断検索等が進められ、データの共有化作業が始まった。また記録容量の多量化および利活用の多様化に伴い、機関・地域ともに流通システムの構築が求められた。図1に示すように、現在は共有化のための初期状況である。

特に、機関・地域とハブ・ポータルとでは、デジタルアーカイブのメタデータの構成が異なることが多い。例えば、地域コミュニティや活用者のデジタルアーカイブでは、課題解決や知的創造サイクル、活用支援のデータ保管も行われ、それぞれに固有の情報が適用される。そこで、機関・地域とハブ・ポータルとでメタデータに違いが生じることから、利活用の状況によっては、どのようなメタデータが必要であるか検討すべきである。

2. 機関・地域とハブ・ポータル

（1）ポータル

利用者がデジタルコンテンツを通して必要な情報を得るための基本構成として、最初にアクセスする、各種の利用性（機能）を備えたポータルサイトの設置が進んでいる。今後は、検索サービスや情報サービス、交流の場としてのチャット、電子掲示板、さらには還元情報などの保管が整備されるであろう。

（2）ハブ

機関・地域とポータルの連携をサポートする流通活動の中核の役割を担っているのがハブである。これらの構築にあたって、メタデータの共有化、保管、デジタルアーカイブの保管の方向性等での検討が必要である。（図2）

3. メタデータ（二次情報）の構成

デジタルアーカイブ機関・地域コミュニティ等の活用に適したメタデータと、管理・流通を主としたメタデータには違いがあり、それを調整し変換を行うハブやポータルの役割が重要になっている。

還元情報：活用結果の還元情報は、デジタルアーカイブにとって重要な情報である。特に利活用

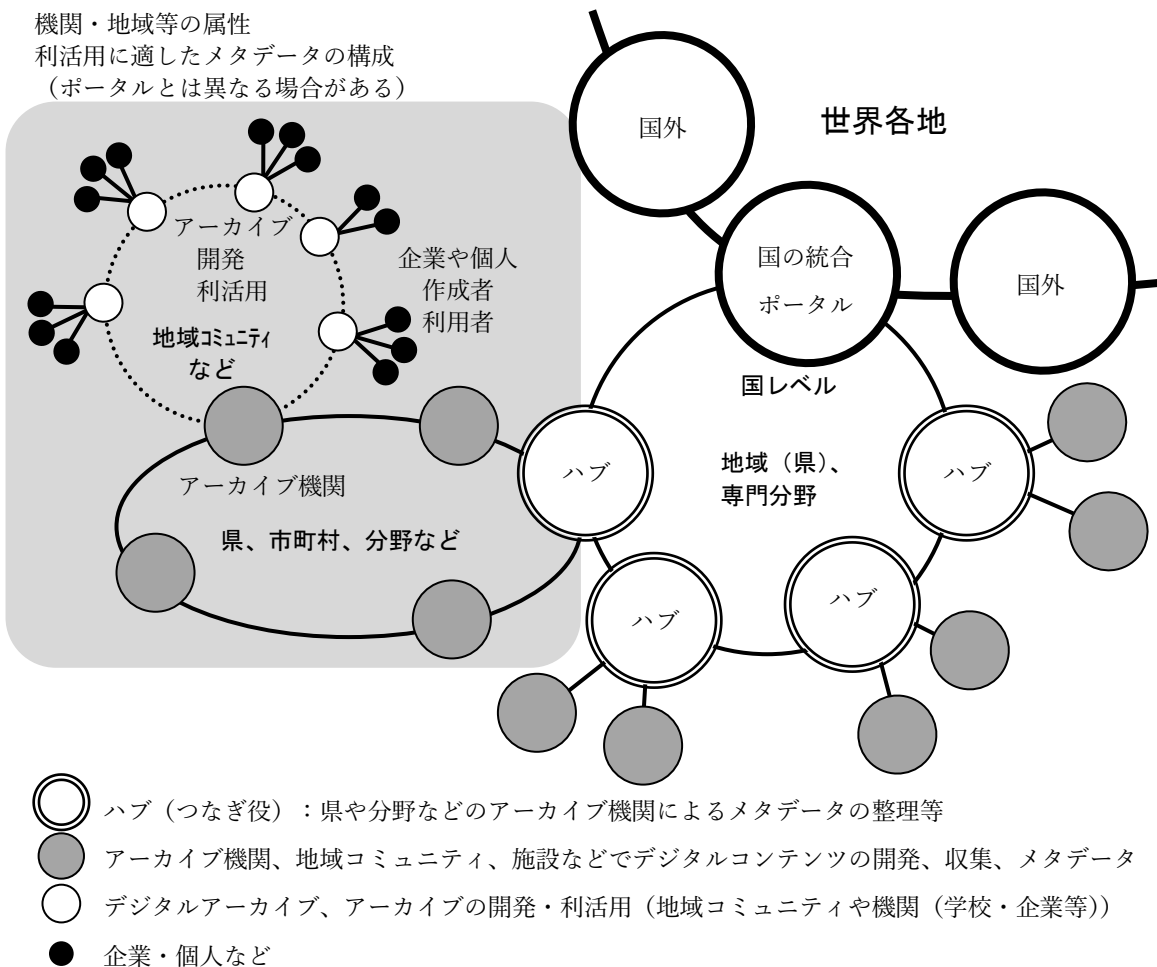


図1 デジタルアーカイブに関する各機関の関わり

での PDCA サイクルによるコンテンツの改善や、さらなる活用の推進に役立たせている。この還元情報については、機関・ハブ・ポータル間で Linked Data を用いる等の整合性が必要である。

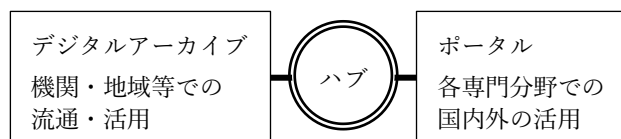


図2 ハブの役割

4. 保存の経済問題 (数十年、数百年、数千年の保管に向けて)

デジタルアーカイブ機関、ハブ・ポータルにおいて、長期保管の保障は明らかになっていない。特に機関、ハブ、ポータル等では、保管データの帰属先との関係で経済的な問題があり、長期保管のための解決が問われている。

5. 強者のデジタルアーカイブ

デジタルアーカイブの保管・流通は、世界・国・地方・地域コミュニティで各種の規制があり、デジタルコンテンツの自由な流通、長期保管の実現は困難であると思われる。例えば、世界の多くの国を見ても「人々の安全のため」、「国の安全のため」等を理由に情報統制がされている。強者のデジタルアーカイブにならないように、今、学会や関係機関で検討すべきである。